

# TECHNICAL BULLETIN



FUJI HEAVY INDUSTRIES LTD.

JCAB APPROVED

HEAD OFFICE ; SUBARU BLDG.  
SHINJUKU, TOKYO, JAPAN

NO. 200-013

DATE 54-11-22

(SUPERSEDES NO. )

REV.

DATE

(SUPERSEDES NO. )

REASON

1. 標 題： 新型エンジン駆動燃料ポンプの装着方法について
2. 適用機体： FA-200-160及びFA-200-180A0の機体で，補助燃料ポンプ出口側ラインにチェック・バルブを装着していない機体。
3. 目 的： Lycoming SI-1110「Replacement AC Fuel Pumps」に依り，エンジン駆動燃料ポンプの部品番号が，下記のものに変更になり若干形状変更が伴ったため，その装着方法について定める。(図-2参照)  
(新) LW15472(41271)  
(旧) 75246 (40295)
4. 指 示： エンジン駆動燃料ポンプから気化器間のチューブをホースに変更し，S/N 243以前の160型(但S/N102を除く)はポンプ冷却カバーの形状を変更する。
5. 実施時期： 新型エンジン駆動燃料ポンプ取付の時
6. 承認： 航空局承認対象外
7. 所要部品： 必要部品表に依る
8. 特殊工具： なし
9. 重量重心： STA 1.170mm，重量.236Kg増
10. 準拠資料： Lycoming SI-1110「Replacement AC Fuel Pumps」
11. 作業手順：  
11-1 (1) サービス・マニュアル項目4-3-1に依り，エンジンカウリングを取外

AIRCRAFT DIVISION

1-11 YOUNAN 1 CHOME, UTSUNOMIYA TOCHIGI JAPAN 〒320  
TEL 0286 (58) 1111 TELEX 3522 176

TECHNICAL BULLETIN 200-013

PAGE 1 OF 4

す。

- (2) 現用エンジン駆動燃料ポンプ，75246(40295)をサービス・マニュアル項目6-11-1に依り取外す。
- (3) S/N243以前の160型(但S/N102を除く)はポンプ冷却カバー200-929017-001をポンプより取外し，図-3の要領で改修する。又は新しい冷却カバー，200-929017-011を準備する。
- (4) 燃料ポンプに(3)項の冷却カバーを取付，サービス・マニュアル項目6-11-2に依り燃料ポンプを取付る。
- (5) 図-1に於いて，燃料ポンプ～気化器間，燃料チューブ200-929002-003(160HPの機体)，又は200-929002-031(180A0の機体)を取外し，新しい燃料ホース，624023-6-0140を取付る。
- (6) 燃料系統の清掃及び漏洩点検をサービス・マニュアル項目6-12に依り実施する。
- (7) エンジンカウリングを取付る。
- (8) エンジン試運転を実施する。

#### 必要部品表

部 品 番 号	部 品 名 称	1 機 当 個 数	備 考
624023-6-0140	HOSE ASSY	1	
200-929017-011	COVER ASSY	1	#243以前の160HPの機体で，交換の場合
MS29512-06	“O” リング	2	
60096	ガスケット	1	

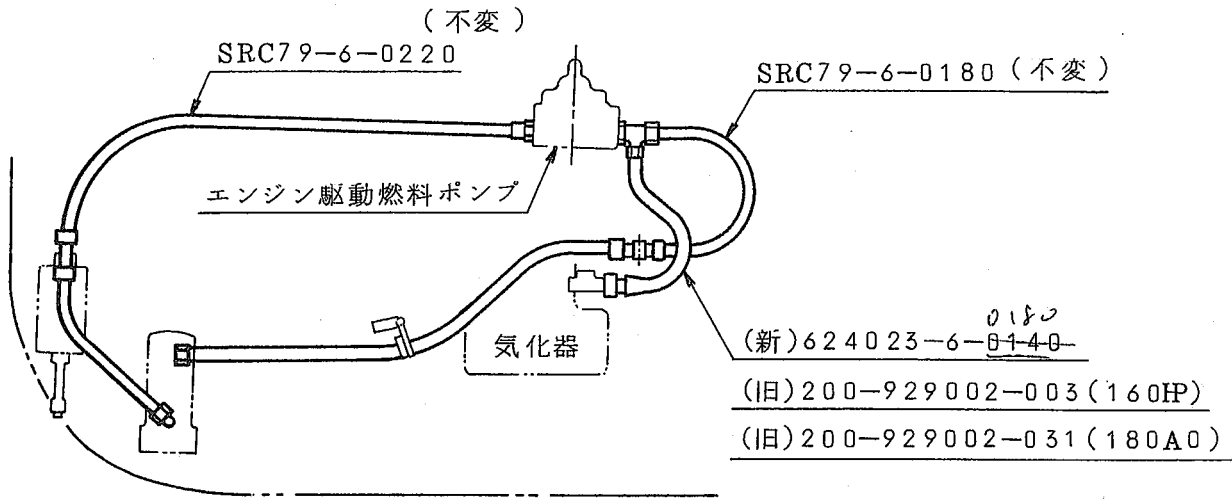


図-1 燃料チューブのホース交換箇所

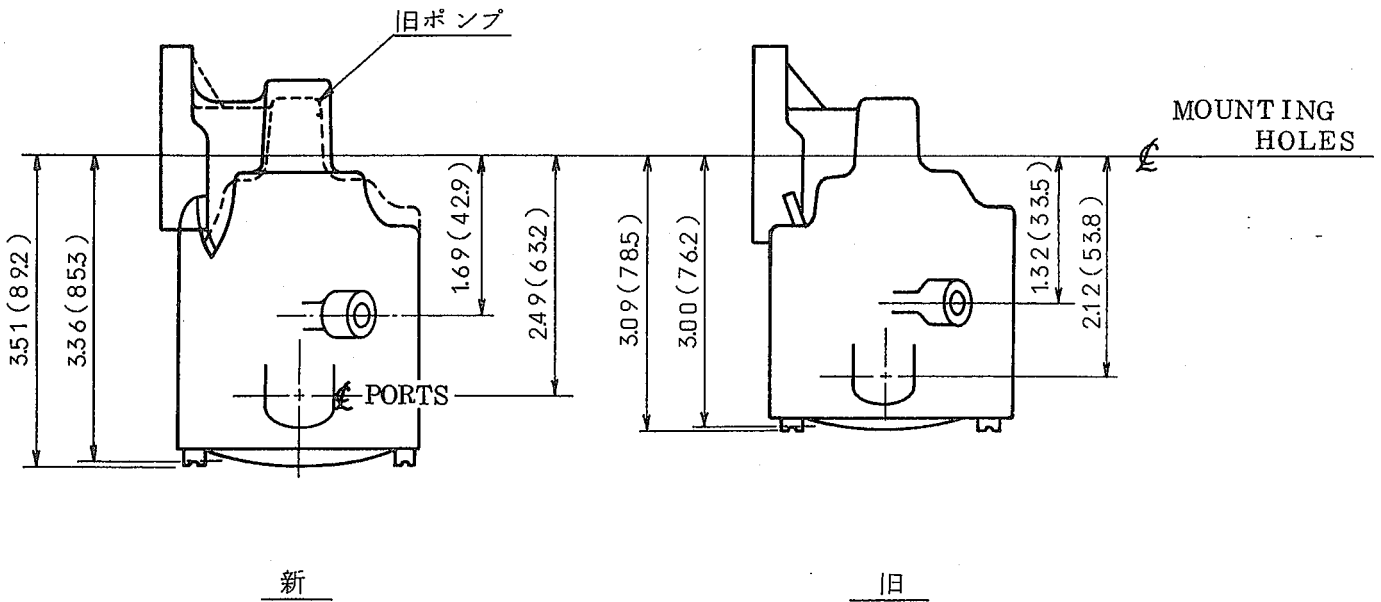
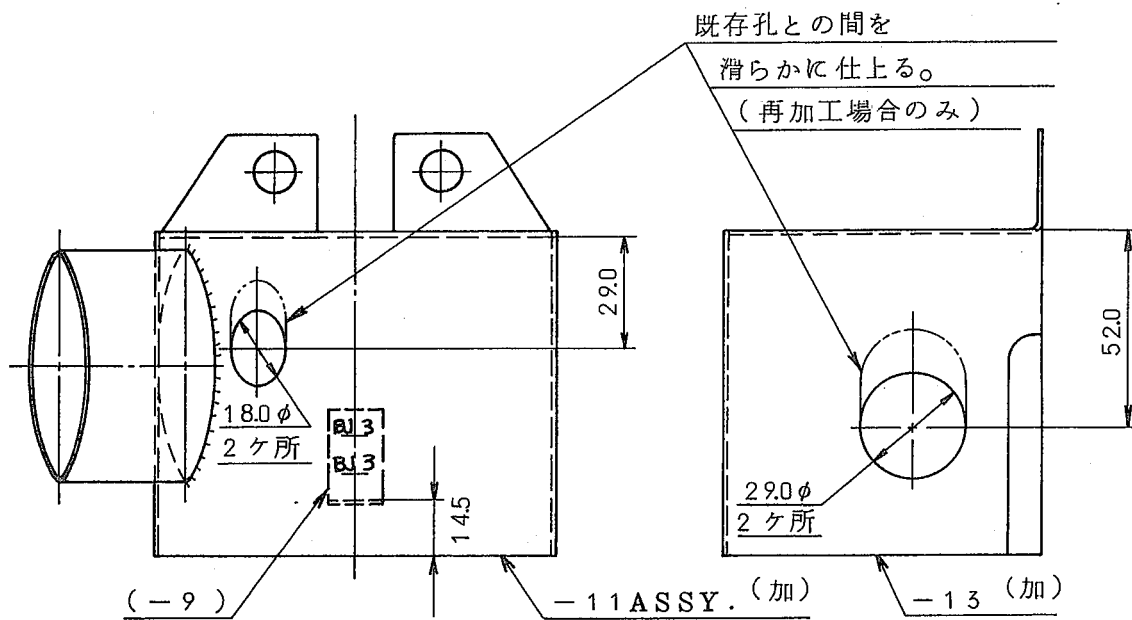


図-2 エンジン駆動燃料ポンプの形状変更部分



燃料ポンプ冷却カバー改修（手直し）要領

- (1) 上図位置に29.0φアナ（2ヶ所）及び18φアナを穿孔する。
- (2) 既存孔との間を滑らかに仕上げる。
- (3) -9（PLATE）を取外し、上下方向を逆にして、上図の位置にMS20470AD3リベット2本で取付る。  
既存鋳孔は盲鋳を行う。

図-3 冷却カバー改修要領図